

研修名 幼児保育・教育

平成29年7月21日（金）10:00～12:30

講演 「遊びを通して学びに向かう力を育む環境と支援」

講師 玉川大学 大豆生田 啓友 氏

1 講演要旨

1) 良い保育とは何か

- ・保育の質 {
 - 子どもが大人から肯定されているか
 - やりたいことで満たされて生活しているか
- ・良い保育…子ども主体の遊びによる保育
 - ① 意欲（遊ばせてるだけでなく遊びこむ環境が整っているか）
 - ② 自尊心を育てる（できた、できないで判断されるのではなく大人から受け止められたか・成功体験）
 - ③ 粘り強さ、やり遂げる力（遊びこむから発展させることができる）
 - ④ 人と関わる力（小さなけんかやトラブルは必要）

→遊びの中での問いが発見につながり、問題解決能力となる

保育士が、子どもが今何に興味をもって、何が楽しいのかを読み取って環境を整えることが保育の質である。

- ・自由におもちゃを取り出せるか
 - ・種類はあるか
 - ・今興味を持っているか
- }
- 一年間同じ環境ではだめ

2) 保育指針改定

・教育とは教え・育てるのではなく子どもが持っている力を引き出すことである。

・小学校で取り入れられるアクティブラーニングのスタートは保育所である。

- ・入学までに
 - ① 10の姿を育てる…遊びこむことによって育つ
 - ② 乳児期に学びの芽を育てる

例えば… {

- 保育室に子どもが今一番興味のあるものを持ち込む
- 赤ちゃんと対話する
- 絵本を保育の真ん中にとり入れる

○遊びこんだ経験が多い子は学ぶ意欲も高い

○遊びの保育とは、遊びっぱなしではなく皆で共有できる時間をつくることである

2 感想

保育環境を見直したいと思い研修に参加しました。物的環境を整えることも大切ではあるが人的環境の大切さも改めて感じました。「大人から肯定され、やりたいことで満たされる。簡単ではないがこれが保育の質である。」という言葉がとても印象に残りました。

また、遊ばせておくことは誰でもできるが、子どもが何に興味をもち、その遊びをどのような環境を整えることで遊びこめるのかを考えるのが保育士の役割であることを再確認しました。

具体的な話が多く、イメージをしながら聞けたのでとても分かりやすかったです。今回参加できなかった保育所職員にも内容を伝えていきたいと思います。

(記録 宇治田原町立保育所あゆみのその 神田佳世)

